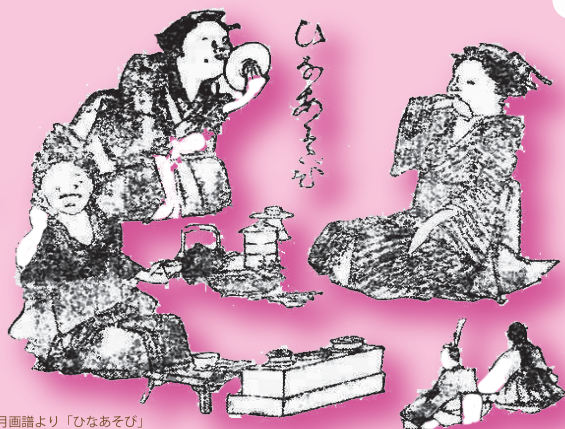


大阪の食文化を知る

講演会「船場の年中行事 お雛さんのお膳」



浪花十二月画譜より「ひなあそび」

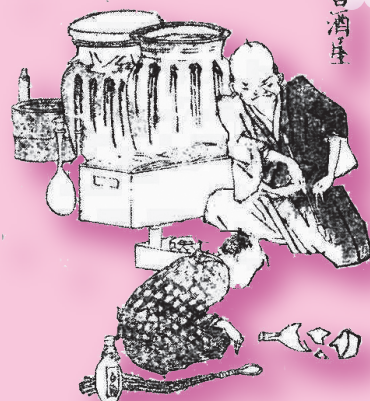
江戸時代から商業の中心地として栄えた船場には、商家ならではの四季折々の生活文化や食文化が育まれ、その伝統が長く継承されています。雛祭りは年中行事のなかでも最も華やかな行事といえます。船場旧家の雛飾りやお雛さんのお膳、お菓子について近江晴子氏に語っていただきます。

日時 平成27年3月20日（金）
10:30～12:00

*開場・受付は10時より

場所 大阪市立住まい情報センター5階研修室
定員 40名 3月15日締切（定員になり次第締め切り）
講師 近江 晴子 氏
参加費 500円（当日受付にてお支払ください）

御菓子司「河藤」製
雛祭りの干菓子をお持ち帰りいただきます。



浪花十二月画譜より「白酒屋」

申し込み方法

- ①大阪くらしの今昔館 HP の申し込みフォームより
- ②FAX 必要事項を記入のうえ送信ください

必要事項

講演会名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、人数（1枚につき2名まで。2名申し込みの場合はそれぞれの氏名をご記入ください）

送信先 FAX 06-6354-8601

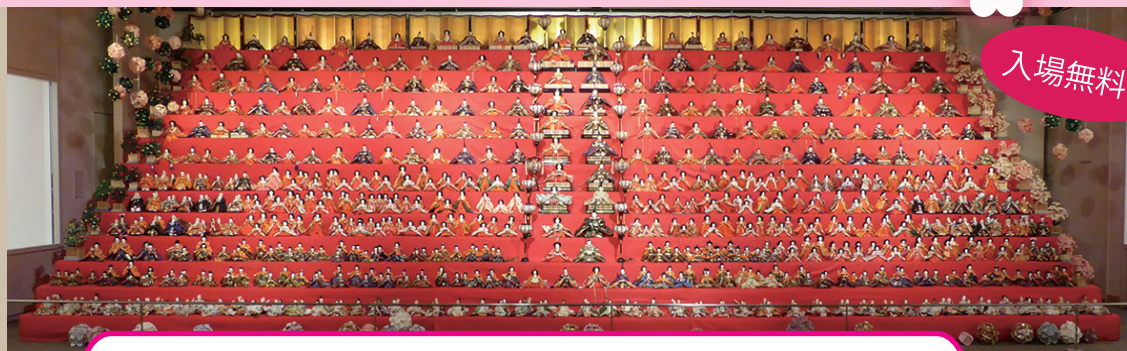
大阪くらしの今昔館 「船場の年中行事 お雛さんのお膳」係

QRコード



携帯電話からのお申込みはこちら！

近江 晴子氏（大阪天満宮文化研究所研究員）
1941年生まれ。奈良女子大学文学部史学科在学中に、道修町の工業薬品製造業会社の蔵から曾祖母の実家の古文書がみつかり、後に「助松屋文書」として出版。大阪天満宮史編集委員（1984年～）を経て現職。天満の天神さんと船場大阪の生活文化史がライフワーク。共著に「大阪天満宮の研究」「天神祭火と水の都市祭礼」「聞き書き大阪の食事」「なにわ大阪の伝統野菜」など。



入場無料！

同時開催 「浪花の大ひな祭り」 約1,000体のひな人形を展示！
3月8日（日）～29日（日）8階企画展示室

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館

○開館時間/10時～17時（入館時間は16時30分まで）
○休館日/火曜日・祝日の翌日・第3月曜日・年末年始
○入館料/一般600円（団体500円）高・大生300円（団体200円）、団体は20名以上
○中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方、市内在住の65歳以上の方は無料（要証明書提示）

地下鉄谷町線・堺筋線、阪急線「天神橋筋六丁目」駅下車③号出口より
住まい情報センター建物の地階へ連絡/JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩7分
〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 TEL06-6242-1170
<http://konjyakukan.com>

